

民・学が連携したプロジェクト発の人材育成の試行

－ 「ヒトとマチの動かし方」研究会UgoQの1stステップ －

畠山洋平, 村澤慧吾, 大島正也 | (株) 博報堂

土崎 伸, 柿元祐史, 小野ひかり, 坪田啓吾, 石塚和哉, 吉川 令 | (株) オリエンタルコンサルタンツ

東 徹, 上田大貴 | (一社) システム科学研究所

神田 佑亮 | 呉工業高等専門学校 谷口綾子 | 筑波大学大学院

「ヒトとマチの動かし方」研究会UgoQ

<現状>

- ✓ 地域交通の難しい状況
- ✓ 生活を支える交通は、必須
- ✓ 様々な民による取組も、発生し始めている

<課題認識>

- ✓ 関係者が連携していかに地域、交通を支えていくか？（モビリティ・マネジメント）
- ✓ （行政も重要だが）民間企業の活動が、そこにつながるようにすることが重要

Start

ヒトとマチの動かし方研究会

UgoQ

モビリティ業界で、
ビジネスを
社会課題に結びつける
仕組みをつくる

まず、プロジェクト発で、人材育成を実施（プロジェクトの推進と育成の連動）

取組概要

研究会メンバーが関わる全国3つのエリアで、地域関係者や周辺市町村担当者を募り、セミナーを実施

⇒ 実施中のプロジェクト事例を題材に、課題や今後実施すべき再編や情報提供、モビリティ・マネジメント等について、幅広くグループワーク

@富山県朝日町 R6/2/27

ゲスト講師：富山大学猪井准教授



朝日町ノックルの取組を題材にそれぞれの地域の取組について議論

@広島県庄原市 R6/2/12・13

ゲスト講師：富山大学猪井准教授



庄原でのこれまでの取り組みを踏まえ、次の課題を議論

@福島県浜通り R6/2/8・9

ゲスト講師：福島大学吉田准教授



朝日町やその他先進地の例を踏まえ、それぞれの地域の課題について議論



対象者：周辺市町村担当者
外部参加者主体の研修タイプ

対象者：地域関係者+周辺市町村担当者
プロジェクト議論タイプ

対象者：周辺市町村担当者
外部参加者主体の研修タイプ

結果

効果

- ・ほとんどの参加者から、参加してよかったとの回答
- ・特に、事例の経緯やヒントについての評価が高い
- ・継続的な取組への要望等も
- ⇒ サービス事業者（広告代理店）とコンサル・学が連携したことで、具体的にバランスの取れた情報共有、議論の場には？
- ・研修参加者と、実際の取組の議論へつながった地域も
- ⇒ 実施者、プロジェクト側へのメリットも発生

課題

- ・外部研修タイプでは、民の取組であることから、参加者の確保が課題に
- ・プロジェクト議論タイプは、地域の取組に対し、深いコミット・調整が必要となる（地域に応じて企画・準備を行う負担が大きめ）
- ⇒ 県単位の育成等の既存機会と連動させ、相乗効果が得られる形を作っていくことが効果的か

今後の活動の展望 — やって見た結果からの考察 —

考察・議論①

改めて、なぜモビリティか？ ～まちづくりのキー戦略に？～

- ・R5セミナー：民主体で自由な議論
交通から視野を広げていくと、動きが見えてくる
- ・モビリティは誰にも考えやすく、くらし・まちにも直結する、優位性ある題材？
⇒ モビリティ業界が頑張ることが、より、これからの世の中のために？
⇒ そう見れば、もっと協力者、理解者、支援者を見つけれられる？

考察・議論②

人材育成も重要だが、実践支援 プラットフォーム的なのが必要？

- ・課題を見付け、交通を使う議論をし、これを広げていくことが必要
- ・交通担当部門や組織単体では難？
- ・教えるより、“実践”による文化醸成が重要？
⇒ 地域での議論を起動、支援する仕組み・プラットフォームが必要？
⇒ そうすると、色々な展開、効果を創出できる？

考察・議論③

サステナブル志向の 企業を結びつけられる？

- ・対個人の育成よりも、関係者や効果のサイクル、影響圏が拡大
⇒ 社会的効果発現でSIB組成？
⇒ 企業のPoC・チャレンジを引き寄せるプラットフォームとして？
⇒ 社会的インパクト創出により様々な主体からの支援・投資を？

広告代理店
× 専門コンサル × 学
の
座組を活かして

R6：都道府県と連携し、プラットフォームづくりも視野に入れた人材育成試行
これらを通じ、ビジネスの力を活かした、モビリティ・マネジメント、まちづくりの実践支援へ？